平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場会社名　アライドテレシスホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6835　URL　http://www.at-global.com
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 大嶋 章禎
問合せ先責任者 (役職名) IR部長　(氏名) 外岡　一幸　TEL 03-5437-6007
四半期報告書提出予定日　平成22年11月12日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	25,365	4.7	324	—	△612	—	△745	—
21年12月期第3四半期	24,229	△32.7	△1,258	—	△1,326	—	△1,580	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△5.59	—
21年12月期第3四半期	△10.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	22,872	11,143	47.6	86.83
21年12月期	24,725	14,076	56.1	95.93

(参考) 自己資本　22年12月期第3四半期　10,885百万円　21年12月期　13,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
22年12月期	—	0.00	—		
22年12月期(予想)				2.00	2.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,360	15.1	1,360	159.1	1,060	77.6	640	31.7	4.53

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　無

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期3Q	157,976,421株	21年12月期	156,876,421株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	32,612,231株	21年12月期	12,207,903株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年12月期3Q	133,327,263株	21年12月期3Q	156,068,129株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しや将来の予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なる可能性があります。

（詳細は、［添付資料］P. 3「1.（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。）

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第３四半期連結累計期間） …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ）を取り巻く環境は、新興国の需要回復等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかし、欧州を中心とした景気減速により世界経済の先行きには、いまだ不透明感があります。一方、わが国の経済は、急激な円高の進行や株価低迷により総じて厳しい経済状況の中にあります。

このような状況のもとで、当社グループは、グローバルで、ヘルスケア市場への進出拡大、チャネルやパートナーの新規開拓及び顧客満足度の向上に努めてまいりました。

地域別の実績として、日本では、医療関係者へのアプローチとして各種学会併設の展示会へ出展するなど、ブランド認知や製品訴求を図りました。また、地域密着型のサービスとサポートを目指し、年初より営業拠点を増強することで顧客とのリレーション強化に努めた結果、受注は増加傾向で推移しております。

海外においては、景気低迷から各国政府の予算の削減や企業の設備投資の抑制によるプロジェクトの遅延が見られましたが、大型案件の受注などにより堅調に推移いたしました。欧米では、パートナー企業との連携によりクラウドベースの医用画像システム（PACS）やＩＰ監視ビデオ市場に進出する一方で、「スター・パートナー・プログラム」（注）によるパートナー企業との関係強化を図りつつ、より一層のシェア獲得及び売上拡大を目指しております。これにより、現地通貨ベースでの売上高は、昨年同期比で欧米が3.1％増、アジア・オセアニアでは13.5％増となりました。しかしながら、円高の影響で円換算ベースではマイナスとなり、昨年同期を下回りました。

（注）欧米を中心に、パートナー企業向けのポータルサイトを開設し、セールスサポートや技術トレーニングなど各種のサービスを提供するものです。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は、253億65百万円（前年同期比4.7％増）となりました。地域別にみると日本は、売上高142億７百万円（前年同期比11.4％増）、欧米は、売上高97億51百万円(前年同期比2.7％減)、アジア・オセアニアは、売上高14億６百万円（前年同期比3.1％減）となりました。

利益面については、当第３四半期連結累計期間における売上総利益率は、56.8％となり、引き続き高い数値を確保しております。営業利益は、３億24百万円（前年同期は12億58百万円の損失）となりました。また、円高による為替差損が第３四半期連結会計期間において３億80百万円増加し、当連結累計期間の経常利益は６億12百万円の損失（前年同期は13億26百万円の損失）となり、四半期純利益は、７億45百万円の損失（前年同期は15億80百万円の損失となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は228億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億53百万円減少しました。これは主に、商品及び製品が７億22百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が22億58百万円減少したことなどによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における負債は117億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億80百万円増加しました。これは主に短期借入金が13億49百万円減少した一方で、１年内返済予定の長期借入金が４億59百万円、賞与引当金が４億29百万円、前受収益が４億18百万円、長期借入金が９億34百万円増加したことなどによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は111億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億33百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少10億34百万円、自己株式の増加23億14百万円などによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の56.1％から47.6％に減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結累計期間末に比べ10億36百万円増加（前連結会計年度末に比べ６億55百万円減少）となる64億90百万円となりました。当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第３四半期連結累計期間における営業活動による収入は27億11百万円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ14億22百万円の増加となりました。これは主に、たな卸資産の増加による支出が29億89百万円増加した一方で、税金等調整前四半期純損失が８億67百万円減少、仕入債務の支払による支出が21億45百万円減少、法人税等の支払による支出が２億89百万円減少したことなどによるものであります。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

当第３四半期連結累計期間における投資活動による支出は５億63百万円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ２億88百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出の増加１億86百万円、定期預金設定による支出の増加１億50百万円などによるものであります。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

当第３四半期連結累計期間における財務活動による支出は25億71百万円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ37億12百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金の借入による収入の増加14億90百万円があった一方で、短期借入金の返済による支出の増加21億39百万円、自己株式の取得による支出の増加21億14百万円、前年同四半期連結累計期間にあった社債の発行による収入４億83百万円がなかったこと、配当金の支払額の増加２億84百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月通期の業績見通しについては、市場動向、為替動向など先行き不確実な要素が多いため、当初の予想を変更しておりません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等については、加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法により算出しております。なお、連結財務諸表における重要性が乏しい連結子会社については、経営環境に著しい変化が発生しておらず、四半期財務諸表における税金費用の計算にあたり、税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法によっております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,690,926	7,246,804
受取手形及び売掛金	5,658,322	7,916,625
商品及び製品	4,406,003	3,683,658
仕掛品	323,856	209,618
原材料及び貯蔵品	840,982	781,915
前払費用	531,212	558,785
その他	1,001,817	1,259,625
貸倒引当金	△244,262	△318,874
流動資産合計	19,208,857	21,338,159
固定資産		
有形固定資産	2,303,818	2,219,878
無形固定資産		
その他	377,241	198,319
無形固定資産合計	377,241	198,319
投資その他の資産		
その他	1,004,813	993,512
貸倒引当金	△22,411	△24,449
投資その他の資産合計	982,401	969,063
固定資産合計	3,663,460	3,387,261
資産合計	22,872,318	24,725,420
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,827,628	2,895,872
短期借入金	1,016,228	2,366,095
1年内返済予定の長期借入金	591,396	132,000
1年内償還予定の社債	168,000	168,000
未払費用	1,202,020	1,008,038
未払金	460,705	585,762
未払法人税等	154,593	95,002
賞与引当金	635,337	205,944
前受収益	2,144,103	1,725,304
その他	334,447	419,760
流動負債合計	9,534,459	9,601,780
固定負債		
社債	164,000	248,000
長期借入金	969,906	35,000
退職給付引当金	686,459	673,949
その他	374,173	89,766

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年12月31日）
固定負債合計	2,194,538	1,046,716
負債合計	11,728,998	10,648,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,835,708	9,807,675
資本剰余金	3,738,759	3,710,725
利益剰余金	△994,613	40,272
自己株式	△2,983,470	△668,512
株主資本合計	9,596,383	12,890,160
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△442	△633
繰延ヘッジ損益	△4,425	－
為替換算調整勘定	1,294,230	988,063
評価・換算差額等合計	1,289,363	987,429
新株予約権	257,573	199,334
純資産合計	11,143,320	14,076,924
負債純資産合計	22,872,318	24,725,420

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年１月１日 至　平成21年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年９月30日）
売上高	24,229,758	25,365,262
売上原価	12,119,531	10,965,263
売上総利益	12,110,226	14,399,998
販売費及び一般管理費	13,368,937	14,075,267
営業利益又は営業損失（△）	△1,258,711	324,731
営業外収益		
受取利息	12,512	9,494
受取配当金	759	1,452
持分法による投資利益	7,358	7,372
その他	13,981	21,284
営業外収益合計	34,612	39,603
営業外費用		
支払利息	57,540	58,420
社債発行費	16,569	－
為替差損	4,910	894,299
その他	23,117	24,414
営業外費用合計	102,138	977,133
経常損失（△）	△1,326,237	△612,799
特別利益		
固定資産売却益	1,362	24
貸倒引当金戻入額	3,831	70,637
新株予約権戻入益	1,502	5,531
特別利益合計	6,696	76,193
特別損失		
固定資産売却損	683	128
固定資産除却損	3,474	3,689
事業再編損	148,554	69,120
訴訟関連損失	7,000	2,643
その他	26	－
特別損失合計	159,739	75,582
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,479,280	△612,188
法人税、住民税及び事業税	101,534	165,580
法人税等調整額	－	△32,220
法人税等合計	101,534	133,360
四半期純損失（△）	△1,580,814	△745,548

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年１月１日 至　平成21年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,479,280	△612,188
減価償却費	383,990	390,923
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△197,771	△54,150
賞与引当金の増減額（△は減少）	188,433	433,638
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△30,462	26,139
受取利息及び受取配当金	△13,272	△10,947
支払利息	57,540	58,420
社債発行費	16,569	－
為替差損益（△は益）	35,417	844,406
持分法による投資損益（△は益）	△7,358	△7,372
固定資産売却損益（△は益）	△679	104
固定資産除却損	3,474	3,689
訴訟関連損失	7,000	2,643
事業再編損失	148,554	69,120
未払費用の増減額（△は減少）	△84,874	278,291
売上債権の増減額（△は増加）	2,487,396	1,966,944
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,725,619	△1,263,786
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,939,925	205,757
前受収益の増減額（△は減少）	311,188	449,547
その他	91,128	△5,323
小計	1,702,691	2,775,858
利息及び配当金の受取額	13,269	10,943
利息の支払額	△51,821	△58,479
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△235,999	53,827
事業再編による支出	△139,434	△67,894
訴訟関連損失の支払額	－	△2,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,288,704	2,711,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△186,609	△372,732
有形固定資産の売却による収入	1,614	131
無形固定資産の取得による支出	△56,235	△84,732
投資有価証券の取得による支出	△448	△451
定期預金の増減額（△は増加）	50,000	△100,000
貸付けによる支出	△9,584	－
貸付金の回収による収入	20,985	780
敷金及び保証金の回収による収入	103,721	9,455
敷金及び保証金の差入による支出	△209,370	△16,296
その他	11,719	837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△274,207	△563,008

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年１月１日 至　平成21年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	823,869	△1,315,355
長期借入れによる収入	200,000	1,690,000
長期借入金の返済による支出	△166,837	△295,698
社債の発行による収入	483,430	－
社債の償還による支出	－	△84,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	－	39,600
自己株式の取得による支出	△199,996	△2,314,958
配当金の支払額	－	△284,191
その他	－	△6,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,140,465	△2,571,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,248	△232,890
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,161,211	△655,878
現金及び現金同等物の期首残高	3,292,853	7,146,804
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,454,064	6,490,926

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

［事業の種類別セグメント情報］

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年９月30日）及び当第３四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年９月30日）

当社グループは、情報通信・ネットワーク関連事業のみを行っているため、事業の種類別セグメント情報の記載は省略しております 。

［所在地別セグメント情報］

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年９月30日）

	日本(千円)	欧米(千円)	アジア・オセアニア(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,751,725	10,026,479	1,451,553	24,229,758	－	24,229,758
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	500,465	97,906	5,738,719	6,337,091	(6,337,091)	－
計	13,252,191	10,124,385	7,190,273	30,566,850	(6,337,091)	24,229,758
営業利益又は損失(△)	△1,376,448	191,036	41,334	△1,144,078	(114,633)	△1,258,711

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年９月30日）

	日本(千円)	欧米(千円)	アジア・オセアニア(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,207,267	9,751,961	1,406,033	25,365,262	－	25,365,262
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	585,350	145,916	6,830,042	7,561,310	(7,561,310)	－
計	14,792,617	9,897,877	8,236,076	32,926,572	(7,561,310)	25,365,262
営業利益又は損失(△)	△201,924	180,738	345,169	323,984	747	324,731

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域

（１）欧米　：　アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、オランダ、イタリア

（２）アジア・オセアニア　：　シンガポール、中国、オーストラリア、ニュージーランド

［海外売上高］

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年９月30日）

	北米	欧州	アジア・オセアニア	計
Ⅰ　海外売上高(千円)	4,240,312	5,526,533	1,449,419	11,216,265
Ⅱ　連結売上高(千円)	－	－	－	24,229,758
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.5	22.8	6.0	46.3

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年９月30日）

	北米	欧州	アジア・オセアニア	計
Ⅰ　海外売上高(千円)	4,151,845	5,350,340	1,403,951	10,906,137
Ⅱ　連結売上高(千円)	－	－	－	25,365,262
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.4	21.1	5.5	43.0

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域

（１）北米　：　アメリカ、カナダ

（２）欧州　：　イギリス、フランス、ドイツ、オランダ、イタリア

（３）アジア・オセアニア　：　シンガポール、中国、オーストラリア、ニュージーランド

３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第３四半期連結累計期間において、平成21年５月14日、平成21年12月28日、平成22年３月30日及び平成22年５月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第３四半期連結累計期間において、自己株式が2,314,958千円増加し、当第３四半期連結会計期間末において2,983,470千円となっております。